

B G参加者の皆さまから

【参加地区の皆さまから】

石川が参加した陸上、卓球、ボウリングの会場を訪れました。どちらの会場も規模が大きく、またボランティアさんがたくさん運営に携わっていたのが印象的でした。準備に費やした時間は、私達の想像をはるかに超えているのでしょうか。本当にお世話様でした。

お会いすることが出来たアスリートやファミリーさんから、「とても楽しかった」と聞いています。「ファミリー交流会も大満足！」と仰っていました。他の地区の方と競技することで、自信を持ったり、逆に上には上がいるという挫折を知ったり…。嬉しいことも悲しいことも良い経験になったのではないかと思います。このような素晴らしい機会を与您いただき、富山の皆様に心より感謝申し上げます。(SON・石川、事務局清水美佐子さん)

* * * * *

SON・長野の選手団は、26日、19:50に長野に無事戻ってまいりました。大会のご成功、おめでとうございます。お天気にも恵まれ、ファミリーの皆様のご結束も固く、何より、気持ちの良い大会でした。十分楽しませていただきました。皆様、お元気で、またナショナルゲーム・大阪でお会いいたしましょう。(SON・長野、事務局長伊澤喜久子さん)

* * * * *

2日間、富山の皆さんの細部にわたるお気遣いに感謝いたします。長野のアスリートには楽しく、また思い出に残る競技会でした。ファミリーの中には今回の競技会を通じ、自分の子供の成長を確信したと話しておられる方もおりました。

私個人といたしましても、お役にたてたか分かりませんが良い経験をさせていただきありがとうございました。競技責任者の清水様はじめスタッフの皆様によりしくお伝え下さい。(SON・長野、競技派遣役員宮下和彦さん)

* * * * *

ブロック大会では大変お世話になりました。とても立派な大会を成功させられて、参加させていただいた私たちは、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

皆さま方が何ヶ月にもわたって準備をされ、ご苦労された結果が実った立派な大会でした。成功おめでとうございます。(SON・愛知、選手団長松田則雄さん)

* * * * *

2日間とても充実した遠征でした。富山の関係者の皆さんが素晴らしい準備をしてくれ、選手団を温かく受け入れてくれたことで、閉会式も楽しく、熊本大会を思い出しました。

卓球では富山のコーチとファミリーのみなさんが一丸となって、進行を進めてくださり、最初から最後の表彰式まで最高の演出でした。新潟のファミリーも富山さんに感心していました。アスリートはそんな環境の中、力を出し切り、メダルやリボンをもらい、思い出深い遠征となりました。

また、二人のアスリートに模範試合のような舞台を設定いただき、これまたいい思い出になりました。私自身も卓球のスタッフの皆さんから優しく受け入れていただき、一緒に動き、夜遅くまで会議をし、ディビジョニングの意見を交換し、表彰式ではプレゼンターという役割を与您いただき感謝しました。今後、富山と新潟とで繋がりをもって合同練習会など、行き来ができるといいと思います。来年は是非、新潟にいらしてくださいませんか？ たくさん卓球をして交流をして、安い宿、会場、新潟大学のコーチ陣等、新潟の手配はバッチしです。是非いらしてください。これからもよろしく願います。SOのスタッフみんなで力を合わせていきましょう。エイエイオー！(SON・新潟、三林九い子さん)

* * * * *

開・閉会式、競技、交流会、宿舎・送迎、ボランティアの計画・準備、大会運営と大変お疲れ様でした。お陰さまで、卓球アスリートは試合をたくさんさせていただき、表彰式で立派なメダルやリボンをいただきました。コーチやファミリーにも楽しい大会となりました。

林さんや富山の皆さんの温かい歓迎と熱い応援、ご支援のお陰と感謝申し上げます。すみませんが、地元の新聞に大会の様子が載っていましたらコピーを1部お送りください。コンビニで買い求めようと思いましたが、時間が無くてできませんでした。不参加の仲間や県民にこの素晴らしかった大会の様子を伝えたいと思います。(SON・新潟、大橋誠一さん)

* * * * *

SON・富山の皆様をはじめ、大会運営に関わるすべての方々の「おもてなしの心」がひしひしと伝わってきて、胸がいっぱいになりました。皆様の温かい拍手と笑顔に始まり、いつでもたくさん笑顔に囲まれて、アスリートも私達選手団もとても幸せを感じていました。

今回、静岡からはボウリング競技だけの参加ではありましたが、金メダルを取れたアスリートが、表彰台で感激の涙を流したことがすべてを物語っているように思います。彼にとっては自分の力で貰えた金メダルではありましたが、ファミリーやコーチ、応援して下さった他の地区の方々、そして何よりこの

大会を開催して下さった富山の方々への感謝の涙であると感じました。

大会に向けご準備もご苦労もたくさんあったことと察しますが、成功裏に終わり、今は安堵されているかと思います。静岡選手団を代表し、心より感謝申し上げます。(SON・静岡、会長湯浅優子さん)

* * * * *

富山からの帰りの電車ではみんな爆睡かと思いきや、元気よく話していました。「楽しかったね!」「よかったね!」「感動しちゃった!」「みんなにメダルみせるんだ!」「今度の大会はいつ?」「こういう大会いっぱいあるといいね!」「友達できたよ!」と口々に、楽しかった思い出をいっぱい話していました。本当にありがとうございました。たくさんの感動の中で、アスリートもまた大きくなった気がします。

大会では記録を出すことも大切ですが、電車に乗ること、役員の方々の話を聞くこと、宿泊経験、アスリート同士のつながり、お互いの励ましあい、たくさんのたくさんの思い出とともに、成長も持って帰ることができました。(SON・静岡、事務局長石塚久美子さん)

* * * * *

福井にとっては、とても意義のある、又楽しい大会で良かったと思っています。いろいろ、ご迷惑おかけしましたことお詫びいたします。

自分にとっても初めての、宿泊を伴った大会の参加で、S0における活動の価値などをいろいろ教えていただきました。ファミリーもいろいろ心配なところがあったみたいですが、この大会で、少し子どもに対する自信がついたようにみえます。(SON・福井設立準備委員会、事務局長野路竜敏さん)

* * * * *

本当に楽しい素敵な時間を頂き感謝・感動しました。素晴らしい富山の人達に再び出逢えた事、嬉しかったです。今大会の2日間のことを新潟CC以降、手帳に記入し楽しみにしていました。

皆さんの優しい・温かい心に再び接する事ができたことをとても喜んでます。アスリートの相手が出る機会もあり、ラケットに伝わる気持ち様が早く、頑張れ!きっともっともっと上手になるよ!と想いを強くしていました。素敵な個性的なアスリートに限り無い可能性を感じました。きっと1年後には技能も心も豊かに強く育った人になること信じています。(SON・埼玉 正中忠憲さん)



【ボランティアの皆さまから】

本当に素晴らしい大会でしたネ。知的発達障害のある人たちにスポ - ツを通して社会参加を応援するスペシャルオリンピックスの開催はとても偉大なもので意義深いものがあります。世間は認識しているものの、まだまだ否定的で固定概念や差別的態度が見られます。彼等の行動は単純直接で、そのものなんです。チカラいっぱい精一杯頑張る姿に感動が沸いてくるのです。

私はこれから「各地で実施されるスペシャルオリンピックスを見に行こう運動」を広げていきたいと思っている処です。一般の人たちが少しでも係わることで、応援の輪を広げて行きたいと思います。「そんなことを言ったって何が分るのヨ」とお叱りを受けるかもしれませんが、頑張っていきたいと思います。数多く参加し係わることで理解度が増します。

11月5～7日、スペシャルオリンピックス大阪大会が開催されますが、ボランティアとして参加致します。障害者のスポ - ツイベントには昨年の9月から係わって参りました。まだ一年です、これからです。皆様のご尽力に敬服いたします。本当にご苦労さまです。(茅ヶ崎市、千葉しげるさん)

* * * * *

私は、SON・愛知のバスケットボールのDALと、宿舍の警備を担当しました。日頃、ボランティア活動にはほとんど参加しておりませんし、まして、スペシャルオリンピックスでのボランティアは初めてでした。そのため、お引き受けしたときには、お役にたてるのか心配でした。

とりあえずスタンドにいて、ヘッドコーチとのやりとりや、弁当を配ったり、チームの応援をしていければいいや、と思うことにしました。でも、時間がたつにつれて、少しずつアスリートからの視線を感じるようになり、自分も仲間に入れてもらっているのかなと思うようになってきました。そして、別れのときには、アスリートのみならず握手やハイタッチをしたり、ピンバッジを渡してくれたり、心が通じ合えたものと感じ、疲れも吹っ飛びました。(富山市、神島隆雄さん)

* * * * *

こちらは、ボランティアというよりは選手の父兄会の気分で参加していました。たった一人で、とっても時間をかけて泳ぐアスリートに応援の拍手が鳴り続けている場面では涙がにじんじやいました。

自分の力を試す機会をもち、そこで喜怒哀楽が得られるって「社会で共存してる」って実感できる一番基本的な形ですね。親として、将来そういう経験を自分の子供に与えたいっていう、とっても具体的な目標みたいなものを、目の前で見られたことがよかったです。(高岡市、牧野哲博さん)

ボランティアの話を伺ったとき、何でも経験してみようという軽い気持ちで申込みしました。しかし、事前説明会で実際にボウリングのレーンサポートの練習を行ったとき、色々やることがあり、驚きました。ピンの数が合っているかを確認し、アスリートが交差しないよう誘導する。投球順を把握して、さらに盛り上げてと…、そんなの自分には無理と、当日が不安になりました。

でも、1日だけの参加だったのですが、説明会での不安がふっとぶくらい心から応援できました。あまり乗り気でなかった友達もピンが倒れる度にキャーキャーと盛り上がっていました。終わった後もアスリートが近寄って来てくれて、握手してくれたり、メダルを見せてくれたり、「いつもはもっと倒れるのに」と話かけてくれたりと、その温かさにとても心がいっぱいになり、楽しい気持ちで終わることができました。(高岡市、小林奈央さん)

【SON・富山会員から】

久しぶりに充実したボラを楽しめました。T君も自分が思っていた以上に接してくれたので嬉しかったです。Y君も合同練習の時から手こずっていましたが、BG2日目は注意するとちゃんと守ってくれたので気持ちが伝わったのかなと思っています。

アスリートはそれぞれ個性が有るので、毎回どうしようか考えるのがとても楽しいです。巧く行く事は余りありませんが、今回も、アスリートよりも自分が楽しみ、そして元気を貰いました。夏のプログラムは終わりましたが、また元気を貰いにフロアホッケー・やアルペンスキ・に参加したいと思っています。(萩原久さん、水泳選手団コーチ)

* * * * *

BGが無事に終わりました。一番頑張ったのはもちろん、アスリートです!! そして、プログラムでご指導くださったコーチの皆さま、日ごろから支えてくださり、ボランティアとしても活躍されたファミリーの皆さま、全員の力が結集して、成り立った大会ではないかと思えます。

今回の大会を通して、人と人の繋がり大切さを改めて感じました。この経験を通して、また、来年のプログラムにつながっていったらいいなあ、と思います。(田口靖子さん、水泳選手団コーチ)

* * * * *

BGが成功裡に終わりましたこと、たいへんうれしく思います。皆様、本当にお疲れ様でした。各位大変な思いをされたことと思いますが、それによって、皆さんとの仲間意識がより深まったのではないのでしょうか。

私も新米HCとして、至らぬ点は多々あったと思いますが、精

一杯やらせていただきました。今は充実感でいっぱいです。皆様ありがとうございました。(森永文夫さん、ボウリング選手団ヘッドコーチ)

* * * * *

BGには初めて参加させていただきました。アスリートの、普段のプログラムとは違った表情を見られたことをうれしく思います。不安だったり、うれしかったり、悔しかったり...アスリートの表情は、素直で素敵でした。やはり、一番印象に残っているのは“笑顔”です! 運営委員会の方、アスリート、ファミリー、ボランティア、コーチみーんなが“笑顔”でした。私は、みなさんの“笑顔”からいつも元気をもらっています。NGでもとびっきりの笑顔がみれるのを楽しみにしています(平崎美幸さん、ボウリング選手団コーチ)

* * * * *

大きな事故もなく、無事に終わることができてよかったですね。すべてをお伝えすることはできませんが、参加地区の多くの皆さんから称賛の声、感謝の声がありました。

もちろん多少は反省すべき点もあるでしょうが、それはそれとして、今回のBGは、現時点でのSON・富山の持てる力をすべて出し切ったのではないのでしょうか?

ファミリーのみなさまへ「富山のファミリーは、すごく頑張ってますね!」という声もありました。今大会を機に、あらためてよく知り合えた仲間も多いかと思えます。一層の一致団結で、頑張りましょう!(澤田守弘さん、競技部会陸上担当)

* * * * *

サッカーは、ゴールキーパーだけ写らなかったのが残念でしたけれど、富山新聞に大きく写真を載せてもらったので、2日目、会場内で見せてもらったのが嬉しかったです。

富山としては、愛知みたいな強いチームと試合をさせてもらえてよかったです。デビジョン分けされると試合できないチームと試合ができてよかったし、交流試合も楽しそうでした。山下審判長からも、「交流会のゲームもいい思い出になりました。サッカーで、また広がりができたことも幸せでした。素敵な笑顔をありがとう」とお言葉をいただきました。(岩瀬妙子さん、サッカー会場責任者)

* * * * *

今回のブロックゲームでは事前準備や当日対応含めているところご協力いただき、ありがとうございました。お陰さまで大きな問題もなく、参加者から「よかった」という声も多く聞かれ、大変満足のいく結果となりました。これも皆様の努力とご協力のお陰です、ありがとうございます。

準備段階でヤキモキされたことも多かったと思いますが、今まで一緒にプログラムや練習会、競技会をこなしてきた仲間ならではのチームワークでその場その場を乗り越えてこられたと感じています。この2日間、いろんな事がありました。短いようで振り返るといろんなことが思い出され、とても中身の濃い思い出に残る2日間でした。（林慎二さん、卓球会場責任者）

* * * * *

個人技能競技のスコアラーを快く引き受けてくださった大坪さん。熱心にルールを勉強され、スコアも完璧でした。N君のケガのこともあり、本田コーチは選手交代やタイムアウトのことにもいつもより心配りが必要だったことでしょう。田中コーチは、アスリートのために手づくりの作戦ボードを持参されていました。それはそれは、とても素晴らしいものでした。その作戦ボードのおかげで、アスリートは自分の役割や位置をきちんと把握していました。

今回の大会のために、ほぼ無理矢理にコーチになっていただいた中山さん、金山さん、佐々木さん、前川さん。N君のケガを心配して、休日にもかかわらず診察してくださった下条さん。対戦表の作成コピー、そして審判団の接待に心配りいただいた石仙さん。こちらも、ほぼ無理矢理に競技部会に入っていたいただいた伊勢さん。雑用を一手に引き受けてくださった末村さん。一生懸命にいろんなこと理解して下さって、やはり女性らしい細やかな心配りでいろんな面でサポートしてくださいました。どれだけ助けられれば、わかりません。

こうして書き並べても、感謝の気持ちの表しようがありません。みなさんに支えられての大会でした。（開和美さん、バスケ会場責任者）

* * * * *

正直なところ2日間とても大変でしたが、アスリートの生き生きとした姿を見ることができて、とてもうれしく思っています。イエローファイターズがシュートを決めた時の誇らしい顔、クリスタルレモン的一致団結したチームの姿、個人競技に出た3人の緊張した様子など、今でも鮮明に思い出されます。みんなの底力というか可能性というか、ただただ「すごいなあ」と思われます。私自身もとてもよい経験をさせていただきました。

一方で、私はHCの肩書があるにも関わらず、全体のことなどをあまり理解できていなくて、アスリートにはもとより、コーチの方々にもご迷惑をおかけしました。コーチの皆さま、いろいろと助けていただきありがとうございました。

アスリートが十分に力を発揮し、無事家に帰っていったのも皆様のおかげです。開さんには会場責任者の仕事有大量にあるにも関わらず、本来はHCがすべき仕事をいくつもしていただきました。競技部会の仕事についてもあまり役に立たなくてす

みません(汗) (本田智寛さん、バスケ選手団ヘッドコーチ)

* * * * *

当初はまる2日の参加は無理であろうと思っていたのですが、金メダルを誇らしげに(?)部屋に飾っていた(ただ単にかけるところが決まっているから?笑)息子を見ていると、それなりに充実した時間だったのではと思います。ありがとうございました。アスリートを間近で見ていると、個人競技のS君やO君も、本番会場の雰囲気からいつも以上に緊張している感じでしたが、終わった後の充実した笑顔は素晴らしかったですね。

イエローファイターズとクリスタルレモンのみんなも試合前のアップからいつもと違い、気合が入っており、大会独特の緊張感に加え、1点差を征しての3位獲得、2点差を追いつき延長で逆転しての勝利など劇的なゲームも経験し、この2日でさらに大きく成長したように見えました。メタボ目前のおじさんとしては、久々にバスケットボールで目頭が熱くなってしまうし、純粋な彼らの笑顔にとても心が洗われました。(下条竜一さん、バスケ競技役員)

* * * * *

ファミリー交流会も、一緒に企画・運営して下さった皆様のおかげで無事終了しました。当日まで何度も交流会部会を開催し、お忙しいところよく集まって下さいました。

司会の方、飲料の手配をしていただいた方、富山のパンフレットや紙風船の手配をしていただいた方、歌を歌っていただくことをお願いしたら快く引き受けて下さった方、また、待ち時間のCDを焼いて下さった方、出演者の応接では先方の皆様に思い切り心配りをしていただいた方等数え上げればきりがありません。

誰一人欠けてもきっと今回のファミリー交流会はうまくいかなかったと思います。他地区のファミリー委員長から感謝と共に「素晴らしかった」とのメールも届いています。また、歓迎のうちわ作りやIDカードのシール貼りにも快く参加いただき、本当に助かりました。交流会が終わった後、「SOにはまりそう……」とおっしゃった方がありました。どうぞどんどんはまって下さいませ。(戸田薫さん、ファミリー交流会責任者)

